

令和 5 年度活動計画

令和 5 年度（令和 5 年 7 月 1 日～令和 6 年 6 月 30 日）の活動計画は以下のとおりです。

基本方針

これまで新型コロナウイルス感染症防止対策の影響のために、対面での活動やイベントが制限される等、NPO活動にも大きな変化を受けて参りましたが、令和 5 年 5 月に 5 類感染症に移行したことから少しずつではありますが、従来型の自主活動を再開できる状況が整って参りました。令和 5 年度の NPO 自主活動については、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮を払いつつ、オンライン講習会の充実、シンポジウムの開催に加えて、新たな取組として環境学習関連や有明・八代海の環境保全・防災関連に関わる活動等に取り組んで参ります。今後とも当 NPO 活動へのご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。

1. 令和 5 年度活動計画

1-1 特定非営利活動に係る事業

1-1-1. 海域、陸域の環境及び国土保全に関わる調査・研究

(1) オンライン講習会（対面・Web形式）の企画・開催

「有明海・八代海沿岸海域の再生と持続的な地域創生のために」と題して、令和 3 年 2 月より 3 部構成で開催しておりますオンライン講習会（Web 形式）を本年度も引き続き開催して参ります。皆様のご参加をお待ち致しております。

令和 5 年度計画中のオンライン講習会の開催スケジュールは、以下のとおりです。

★オンライン講習会「第 2 部八代海を取り戻すためにやること！」

① 第 7 回今すぐやれることは？（個人・組織・行政でやれること）

② // 次の世代のためにやることは？（長期的・持続的対策の重要性）

：R5 年 7 月 14 日開催済み

★オンライン講習会「第 3 部八代海をいつまでも！」

⑤ 第 9 回八代海との付き合い方は？（身近な海という感性の重要性）：R5 年開催月は未定

⑥ 第 10 回続けていくためには？（事業の予算化、他）：令和 5 年開催月は未定

(2) 環境保全・防災分野の新たなモデルとして、NPOと官との連携によるモニタリングシステムの構築・運営に関する調査研究（環境再生機構：地球環境基金への応募）

近年、激甚化・常襲化し多大な被害を発生させる豪雨により有明海・八代海域に流入する濁水や流木等の浮遊物問題が水面利用や海域環境に甚大な影響を与えています。これらの課題に対して、適切かつ効率的な対応を図るための浮遊物拡散状況モニタリングシステムの構築とともに海域環境保全監視の地域環境プラットフォーム形成に取り組んで参ります。

1-1-2. 環境の再生・維持及び防災に関わる地域社会支援活動

(1) 熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムへの取り組み

当フォーラム活動の事務局の一員として主体的に取り組んでいくとともに、現在、鋭意活動中の二つのプロジェクト「活動PR戦略プロジェクトチーム」及び「八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチーム」の活動を支援して参ります。

1-1-3. 海の交流事業と広報活動に関わる企画・運営【シンポジウム開催】

(1) シンポジウムの企画・開催

オンライン講習会3部作として開催して参りました「有明海・八代海沿岸海域の再生と持続的な地域創出のために」をテーマに、これまでの活動取り組みの総括や関係行政機関の取り組みの進展、今後の課題等について意見交換や関係者間の情報交換・交流の場としてシンポジウムを企画し、開催に向け取り組んで参ります。

(2) 環境学習（干潟フェスタの復活）関連の取り組みに向けた検討

当NPOでは、自然豊かな熊本港周辺干潟（なぎさ線・野鳥の池）を環境学習のフィールドとして、平成27年度（16回開催）まで、毎年多くの皆様の協力の下、干潟フェスタを開催・運営して参りました。令和5年度の環境学習関連の自主事業活動の一環として、干潟フェスタの再開に向けた検討に取り組んで参ります。

1-2. その他の事業

(1) 「八代海再生へのシナリオ」書籍の配布

これまでの研究成果や最新の科学技術的な知見を網羅し“八代海の真の再生”に資することを目標に編纂・製本した「八代海再生へのシナリオ」を、ご提供（印刷・製本・郵送費のみを徴取）して参ります。

※「八代海再生へのシナリオ」 全373ページ／巻末資料集：CD-R 1枚

印刷・郵送費：3,500円/冊（税込み）：提供方法・当NPOのホームページより

(2) オンライン講習会での講演動画配信や講演資料ダウンロードの提供

書籍「八代海再生へのシナリオ」の解説および八代海の再生に向けた最新の知見や話題提供として開催しているオンライン講習会において、講演者より提供を受けた各種資料や当日の講演の様子を記録した動画等を再編集し、八代海・有明海をはじめ日本全国の沿岸域再生に関心や興味がある地域の方、研究者、技術者、関係行政機関の方々への見直し配信等情報提供に取り組んで参ります。

(3) 情報共有と発信（広報活動）

情報発信の基盤として、NPOみらい有明・不知火のホームページの更新頻度を上げ会員の皆様への情報発信及び各イベント参加の呼び掛けなど情報の鮮度や掲載内容の充実・向上に取り組んで参ります。 URL <http://www.mirai-ay.or.jp>